

山武市空家等対策協議会議事録（令和 5 年度第 2 回）

日 時	令和 5 年 12 月 22 日（金）10：30～11：30
場 所	山武市役所新館 3 階 第 5 会議室
出席者	（建設環境部長）今関 務（山武市長 松下 浩明 代理） （委 員）椎名 義信（千葉県建築士会 会計理事） 鈴木 克美（全日本不動産協会 千葉県本部 常務理事） 櫻田 基介（山武市議会議員） 深沢 誠（山武市議会議員） 野老 晃（山武郡市広域行政組合消防本部 予防課長） 小沢 信（山武警察署 生活安全課長） 菅谷 清（山武土木事務所 建築宅地課長） 井野 敬一（山武市区長会連合会 会長） 村上 進二（山武市区長会連合会 理事）
発言者	議事要旨
A 委員	【会議次第】 - 開 会 - 挨拶（市長代理 建設環境部長） - 議 事 - 空家等対策計画（素案）について - その他 - 株式会社クラッソーネとの連携協定の締結について - 今後のスケジュールについて - 閉 会 【開催結果概要】 ■定足数報告 委員過半数の出席により会は成立 （委員総数 12 名のうち出席委員数 9 名） ■議事 議事 1 空家等対策計画（素案）について ・事務局報告内容のとおり承認 【意見・質疑応答詳細内容】 （議事 1 空家等対策計画（素案）について） ○ 会議資料（パワーポイント印刷資料）9 ページ、空家等対策計画素案 57 ページについて、相談会を開催するということだが、空き家とは何か、空き家対策とはどんなことを行うのか、またどういった事例があるのか等市民の方々はわからないのではないか。相談会と合わせて、セミナー等開催してはどうか。 ○ 空家等対策計画素案 58、59 ページの「◆その他、国の支援事業の積極的活用」について、積極的に記載があるため、開始時期の目途を記載いただくと共に、各制度についてどの程度補助が出るのかがわかりやすい資料等を掲載いただきたい。 ○ 空家等対策計画素案 2 ページについて、SDGs の 11 番（「住み続けられるまちづくり」）は記載があるが、様々なところと協働して行っていく必要があるかと思うため、17 番（「パートナーシップで目標を達成しよう」）や、リサイクル・リ

	ユースの意味合いもあるかと思うため、12 番（7「つくる責任・つかう責任」も記載する必要があるのではないか。
B 委員	○ 会議資料（パワーポイント印刷資料）12 ページについて、空き家ができる理由はインフラ等様々な理由があるかと思う。空き家に焦点を当てているのかと思うが、全体的な視点も持たないといけないのではないか。
副会長	○ 空き家に関して建築士会では、千葉県の空き家対策会議、各市町村の空き家対策会議にも参加している。基本的に空き家対策というと空き家になった場所にどう対応するかがメインとなるが、どう空き家対策を行うのかとなると、空き家対策は範囲が広いため一つのことに絞るのが難しいかと思う。 隣の家が崩れかけている状況で危ないという現状も見受けられる。それに対しては対応をしないといけないと考える。 現在、市では都市整備課がメインで空き家対策を行っているが、市の中でも他の課との連携が必要と考えられる。 以上